

平成 26 年度 6 月 広瀬川アユ遡上調査速報（最終）

平成 26 年 6 月 30 日
宮城県水産技術総合センター
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場では、アユの遡上状況の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、広瀬川においてアユの遡上状況を毎年調査し、その状況を皆様にお知らせしています。

今年度の 6 月までの結果は以下のとおりです。

〔調査内容〕

・調査地点

調査点 1：名取川との合流点から 500m 上流（河口から 7.5 km）

調査点 2：愛宕大橋から 200m 下流（河口から 11.5 km）

・調査日

5 月上旬（5 月 8 日）、中旬（5 月 19 日）、下旬（5 月 29 日）、

6 月上旬（6 月 3 日）下旬（6 月 24 日）の午前 9 時から正午まで

* 6 月中旬に予定していた調査は降雨による増水により中止となりました。

・調査方法

各調査点において、それぞれ投網を 10 回打ち、1 回あたりの平均採捕尾数を求めました。採集したアユは、1 調査点あたり 100 尾を上限に、試験場に持ち帰り、大きさ（尾叉長）と体重を測定しました。

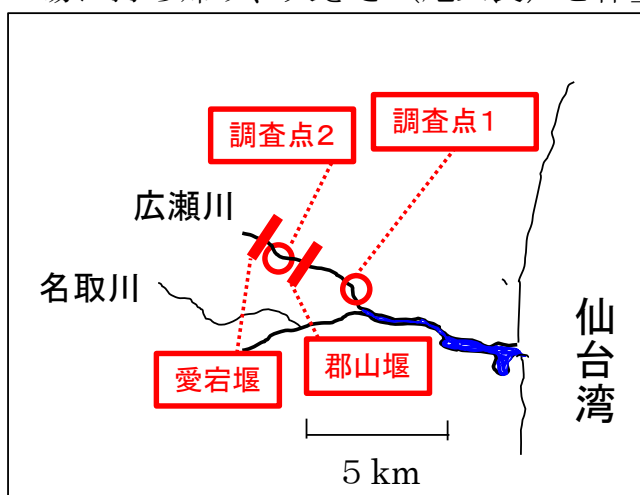


図 1 調査点



写真 1 調査風景（調査点 1）



写真 2 調査風景（調査点 2）

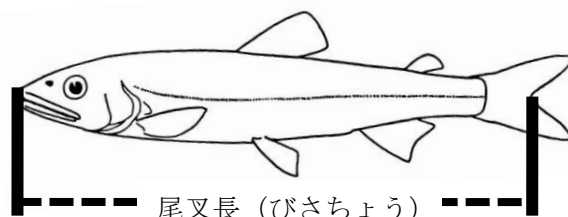


図 2 アユの大きさ（尾叉長）

〔調査結果〕

調査点1の平均採捕尾数をみると、5月中旬の46.6尾/投をピークに減少し、6月下旬には3.0尾/投となりました（図3）。調査点2では5月上旬の1.3尾/投から増加し、6月下旬には7.7尾/投となりました（図4）。5月上旬から6月上旬までは例年並みから例年以上の採捕尾数となっていました（図3および4）。また、6月下旬の調査では両地点とも例年より、やや少ない採捕尾数となりましたが（図3および4）、調査点2付近の目視では多くの魚影が確認されました。6月下旬に採捕されたアユの尾叉長の組成をみると、調査点1で平均10.1cm、調査点2では平均10.7cmとなり、上流に位置する調査点2では大型個体の割合が多い傾向にありました（図5）。これらのことから、本年のアユの遡上は概ね順調に進んでいるものと考えられました。

今年度のアユ漁解禁前の遡上調査は、今回の速報をもって終了いたします。

